

## 1 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

### (1) 分析チャートからの分析

#### ア チャートの傾向

昨年度に比べて生活意識の中で、自己肯定感が低い生徒が多い。自分の良さを意識させることや、将来の目標などを明確にさせることが課題としてあげられる。学習意識は、学年が上がるにつれて高くなってきているので、今後も学習意欲を刺激していくことが、より良い結果を引き出すことができると考える。

#### イ 学校質問紙

少人数指導や長期休業日を利用した補足的な学習サポートなど、子どもの課題にきめ細かく対応して指導している。また、地域の人材を外部講師として招聘した地域交流学习にも取り組んでいる。家庭に具体的につまずきの対策を知らせ、学習習慣の定着を図る取り組みを継続的に行っている。小学校低学年からの家庭への働きかけも必要であり、小中連携の中で話題にし、小学校での取り組みを促している。

#### ウ 生徒質問紙

1・2年生とも自分の考えを発表することが苦手な生徒が多い。家の手伝いについては、よくやる生徒が多いが、保護者が不在で必然的にしなければならない状況が多く考えられ、学習環境への良い影響より、保護者とのつながりの希薄さをあらわしていることが推察される。

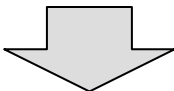
### (2) 教科学力及び経年分析

1・2年生とも理科を除いた4教科の学力層Dが全市より多い。

### (3) 学校の状況・地域の実態

- 在校生の約9割の生徒が南瀬谷小学校からの進学。小中連携の一層の推進が期待される。
- PTA活動をはじめ、多くの保護者が学校の取組に協力的である。一方、学力観に確固たるものがないケースが多く、具体的にどのように、子どもを援助すればよいかの手段がわからない保護者が多い。
- 教職経験10年未満の職員が増え、教科指導・生徒指導について先輩教員からアドバイスをもらっている。今後、組織としての研修を十分に行う必要がある。

## 2 今後の方向



### (1) 最優先課題

- ア. 学力の基盤となる基本的な生活習慣や、家庭学習の確保を含む学習習慣の確立
- イ. 読解力の養成、文章または論理的な説明能力の向上
- ウ. 多くの生徒の意欲を引き出す授業の工夫と、安定した授業環境を確保する指導力の向上

### (2) 学力向上重点目標【中期学校経営方針（平成25年度～28年度）】

- ア. 朝学習や補習・学習相談など豊かな学習支援の充実により確かな学力の育成をはかる。
- イ. 市の学習状況調査の結果分析のもとに生徒の実態を把握し、指導方法の工夫・改善を進め、家庭学習への支援も充実させることで学力向上を図る。

### 3 平成27年度 具体的方策

#### 朝学習・補習体制の充実による学力の育成（平成27年度目標）

##### （1）教員一人ひとりの授業力向上への取組

###### ウ. 指導力の向上、授業の工夫・改善

- **授業方法の工夫**

校内授業研究を通して、講義型とともにグループ活動を取り入れた授業の形を工夫する。また、数学、英語等で少人数指導を導入し、きめ細かな指導ができるようにしている。

- **ワークシートの活用**

課題の発見とその解決に向けた指導・助言を行い、次の授業に活かす。

- **授業形態についての中中連携**

小中連携担当者会と連携し、授業交流を通して生徒の学習状況について情報交換を行う。

##### （2）学校組織としての取組

###### ア. 学習の習慣化・主体的態度

- **朝学習** 毎朝10分間、英・国・数の3教科を中心としたプリント学習を行い、結果を家庭にフィードバックし、家庭での学習指導をアドバイスすることで基礎基本の学力とともに学習習慣の定着を目指す。（総合的な学習との連携）
- **フィードバックを中心とした小中連携** 中学校の学習で行き詰まった生徒が、個々の学習状況に応じ、小学校の単元に戻って取り組めるように、9年間通して学習確認プリントを蓄積していく。（小中連携担当者会との連携）
- **補習体制の充実** 試験前に、部活動や会議等の入らない学習相談日を数日設定し、生徒の質問を受け助言をする。（学習指導部との連携）
- **3学期制による振り返りの機会を増加** 長期休業前に成績を提示し、各自の課題を明らかにすることで、新たな目標設定ができるよう助言する。
- **サマースクール（夏休みの補習）、および長期休業中の家庭学習の充実** 保護者にも積極的に関わってもらうことで、学習環境を整えていく。（学習指導部・教科会・学年との連携）
- **生徒の社会的スキルの向上** 生徒主導による特別活動の充実を図る。（特活指導部との連携）
- **全職員による生徒理解** 情報交換を密に行い、学年を越えての生徒理解および適切な助言を行えるようにする。（生徒指導部との連携）

###### イ. 読書活動の充実

- **朝学習での取り組み** 図書館蔵書の学級貸出など、朝読書活動への協力と支援を図る。
- **学校図書館の環境整備** 計画的な図書館利用指導、館内の整備と蔵書点検、選書の工夫により、学習環境を整え、意欲を高める。
- **図書委員会の活動** 図書の紹介、広報活動などを通して活発化する。
- **各種読書コンクール参加への奨励** 長期休業中の課題図書紹介など、意欲を喚起する。

###### 学力向上アクションプラン検証と授業評価・学校評価

○評価計画 ・授業評価（年1回、関係者1回）